大曲中学校情報通信

和顔愛語

めざす学校像

子どもに「感動」を与える学校
教職員が「歓働」を共有する学校
地域・保護者、教職員の「汗動」にささえられた学校

令和４年８月２４日 校長 発行

絵本の勧め・平和について考える

私は絵本が好きです。図書室で五十嵐司書さんにお勧めの絵本を借りて読んでいます。本屋に行っても絵本コーナーに行って立ち読みしています。絵本、面白いですよ。すぐに読むことができますし、奥が深いです。図書室にもあるので是非、読んでみてください。

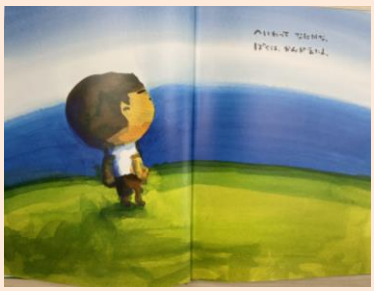
そんな中、図書室で『へいわってすてきだね』という絵本に出合いました。読んでいて、ジーンと心に響くものがあり心が動きました。

この絵本には、日本の最西端の沖縄県与那国町立久部良小学校の安里　有里（あさと ゆうき）くんが１年生のときに書いた詩が綴られていました。2013 年６月 23 日、沖縄平和記念公園での「沖縄全戦没者追悼式」で安里くんがこの詩を朗読し、多くの人が涙したそうです。紹介します。

へいわってすてきだね

安里 有生（あさと ゆうき）

へいわって　なにかな。　ぼくは　かんがえたよ。　おともだちと　なかよし。
かぞくが　げんき。　えがおで　あそぶ。　ねこが　わらう。　おなかが　いっぱい。
やぎが　のんびりあるいてる。　けんかしても　すぐなかなおり。
ちょうめいそうがたくさんはえ、よなぐにうまが　ヒヒーンとなく。
みなとには、フェリーがとまっていて、うみには，かめやかじきがおよいでいる。
やさしいこころが　にじになる。　へいわっていいね。　へいわって　うれしいね。
みんなのこころから、へいわがうまれるんだね。　せんそうは、おそろしい。
「ドドーン、ドカーン。」　ばくだんが　おちてくるこわいおと。
おなかがすいて、くるしむこども。　かぞくがしんでしまって
なくひとたち。　ああ、ぼくは，へいわなときにうまれてよかったよ。
このへいわが、ずっとつづいてほしい。
みんなのえがおが、ずっとつづいてほしい。　へいわな　かぞく。
へいわな　がっこう。　へいわな　よなぐにじま。
へいわな　おおきなわ。へいわな　せかい。　へいわってすてきだね。
これからも、ずっとへいわがつづくように　ぼくも、ぼくのできることからがんばるよ。



この夏休み中、８月６日に広島平和記念式典、９日に長崎平和祈念式典で平和宣言が読み上げられ、１５日が終戦記念日、全国戦没者追悼式が行われました。改めて、さまざまな場面で、平和について子どもたちに伝えていくことが大切だと感じました。